

④9 鳥取環境大「学生EMS委員会」(鳥取市)

鳥取環境大(鳥取市若葉台北1丁目)の学生でつくる「学生EMS委員会」。環境、経営両学部約50人が参加し、脱炭素の推進や環境問題の解決に向け、多様な企画を通じて啓発活動に取り組んでいる。昨年新たに実施したのが、地域の小中学生や保護者に防災を楽しく学んでもらう体験型イベント「未来ノオト」だ。「防災×食とエネルギー」をテーマとして行政や専門機関など16団体が15ブースを学内に出版



楽しく学べる場を提供

消防車両の展示などを通じて防災を楽しく学ぶイベント「未来ノオト」(学生EMS委員会提供)



し、消防車両やパネルの展示のほか、紙パックを燃料とする炊飯製品の体験などの催しを繰り広げた。脱炭素の啓発週間「TUESDAY Sustainability Week(チューズ・サステイナビリティ・ウィーク)」内のイベントとして初開催したところ、

200人以上が来場するなど盛況。サステナブル(持続可能)な暮らしという観点で環境問題とも関連づけつつ、地域の防災意識の向上につなげた。今年は「防災×水環境」をテーマとし、規模を拡大して11日に開催する予定という。活動は地域を元気にする県民の優れた地域づくり活動を表彰する「2025年度鳥取県ミラ・クル・とっ」とり運動・SDGs活動表彰」の学生部門で優秀賞を受賞した。同委員会の山中瑚々前委員長は「実際に体験して学ぶことで興味を持ってもらえるので、今後も楽しく学べる場を提供していきたい。今年のイベントも楽しんでもらえれば」と呼びかけた。